

さくら第480号

令和元年12月

# さくら

発行所 さくらそろばん  
 発行者 平瀬重雄  
 春江町境 17-7:Tel.51-1337  
 hirase@mx2.fctv.ne.jp

本  
 念  
 な念でもいからん  
 本念であらうん  
 本念であれは  
 たのしいから  
 本念であれは  
 つかれなから  
 つかれも  
 つかれが  
 さわやかだから  
 みこ

## 『さくら480号40年』

毎月1回塾報「さくら」を発行し続けて40年になりました。何事でも休まず続けるには根気とあきらめない心を必要とします。そしてもう一つ加えるなら、楽しみを感じることだと思えます。イヤイヤやっているのでは良い知恵も浮かばないし、やる気が失せます。

毎月のことながら、新聞を作り印刷するとほっとして気持ちが楽になり、身体が軽くなった気がします。でも、1週間も過ぎると次号は何を書こうかなとあれこれ思い悩みます。

今さら、今月号は作れなかったので来月に2か月分まとめてわたしますとは言えませんから必ず発行せねばなりません。でも、ものは考えようで、そういうある種のプレッシャーがあるから続けてこられたと思います。B5版4頁5000字あまりの新聞ですが、大いなるマンネリも期間が長ければ意味があるかなと思います。

40年前、塾見学と懇談会を開き、学習者一人ひとりの進度や問題点などを説明し、話し合うという機会は持てず、そうかといって何もお知らせしないのではいけないし、そろばん学習において私の考えやお願いしたい事などがあり、そのためには「塾報」によって知っていただくことが必要という思いから今にいたっています。

毎月いろいろな事があります。検定試験で合格した皆さんの努力のたまものを活字にして残すことは大きな励みになると思います。よくある事ですが、高校入試や大学への推薦入試などで、履歴書に書くのに合格年月日や主催団体名が分からないので教えて欲しいとい

う連絡があります。合格証書が見当たらないからとのことです。大学への推薦入試の書類に資格を記入せねばならず困っているというのです。

検定試験の合格発表の記事は親子とも特に関心があり、あの人に負けないよう頑張るという目標設定にもなるようですし、達成したという結果が自信となり、さらなるレベルアップにつながります。検定試験は自分との競争です。

競技大会に出ることは他人との競争になります。検定試験は審査基準をみれば誰もが合格しますが、競技大会は相手のあることなので自己最高点であっても入賞しないことがよくあります。

単なる勝ち負けにこだわることはだめですが自己のレベルアップを図り、向上意欲を増すには他人との競争も必要です。検定練習だけではなく、大会に出て、知らない人たちの中でプレッシャーにまけず気持ちがパニックにならないよう場数をふむことが大事です。

ふだんの授業の中でよくアンケートをとりまします。ある事がらについて自分の思い、意見、改善案などを200字ほどにまとめるトレーニングが大事です。おしゃべりはいくらでもできるが、自分の考えをまとめて書くという事は実社会でも必要です。仕事でレポートを書く場面は多くあります。書く習慣を身につけましょう。

世の中の進歩はめざましく、通信や事務機器類には目をみはるものがあります。多くの練習問題などを作る時、今では見た人がいないような謄写版(とうしゃばん)からスタートし、タイプライター、ワードプロセッサ(ワープロ)、パソコンへと進化しています。

印刷機もずい分進化し今はカラードラム輪転機、カラーコピー機を使用。パソコン2台を使い作成しています。2017年1月からはホームページ【さくらそろばん春江】で皆さんの活動の様子もお知らせしています。「さくら」が皆さんの活動に役立つことを願い、中身を充実させていきたいという前進あるのみです。